1. 平成30年度一般会計決算の概要

~実質収支は 19 億 8,100 万円、市税収入は3年連続で増収~

【決算額と実質収支】

・平成30年度一般会計の決算は、歳入決算額1兆7,293億7,900万円、歳出決算額1兆7,162億1,600万円となり、歳入決算額から歳出決算額等を差し引いた実質収支は19億8,100万円となりました。

実質収支の 1/2 (約9億9,050万円) は財政調整基金に繰り入れ、残りの 1/2 は前年度繰越金として、令和元年度の財源として活用します。

【市税】

・市税収入は、個人市民税や法人市民税、固定資産税の増収などにより、
8,237億2,000万円(前年度比965億7,900万円(+13.3%)増※)となり、3年連続の増収となりました。

※県費負担教職員の本市移管に伴う税源移譲(849 億円)を除くと7,388 億円で117 億円の増収(+1.6%)

・市税収納率は、前年度と同率の99.2%となりました。

【一般会計が対応する借入金残高】

・一般会計が対応する借入金残高は、平成 30 年度末に3兆 1,570 億円(前年度末比 21 億円増)となりました。

◇一般会計決算額等の状況

H29 2 区 分 H30 1 増減①一② 歳入決算額 1,729,379 1,686,885 42,494 Α 歳出決算額 В 1,716,216 1,670,239 45,978 形式収支 C=A-B13,163 16,646 **▲**3.484 繰越財源 11,181 9,369 D 1,813 実質収支 E=C-D1,981 7,278 **▲**5,296

(単位:百万円)

(単位:百万円)

◇実質収支の推移

	H26	H27	H28	H29	H30
実質収支	3,002	6,044	2,485	7,278	1,981